

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.7

調査者	小川 明宏、齊藤 正和
情報ソースの刊行日	2020年4月9日
情報ソースの調査日	2020年4月18日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年4月24日
日本語タイトル	COVID-19時代の退院後の心臓ケア:どのように準備するべきか?
情報ソース	Percy E, Luc JGY, Vervoort D, Hirji S, Ruel M, Coutinho T. Post-Discharge Cardiac Care in the Era of Coronavirus 2019: How Should We Prepare? Can J Cardiol. 2020 Apr 9.
情報のカテゴリー	急性期の心リハ、回復期の心リハ
発信地域	北アメリカ
DOI	https://doi.org/10.1016/j.cjca.2020.04.006
URL	https://doi.org/10.1016/j.cjca.2020.04.006
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19に起因する不整脈や心筋障害などの心血管イベントが報告されている。 COVID-19に伴う心筋障害は、死亡率の上昇や重篤な治療経過と関連している。 COVID-19に伴う新規の心機能障害患者に対する心臓リハビリテーション(CR)の需要が高まるため、退院後のCRシステムを圧迫する可能性がある。 充実したホームプログラムを準備すること、CR施設間のオープンな連携をとること、医療者の感染暴露を軽減するための遠隔システムの活用をすることが有効となる。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか?	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19感染後に心筋障害を有した患者に対して、退院後のCRの需要が高まる可能性がある。 回復期のCRを実施している施設間や地域での連携が重要であり、感染暴露軽減のための遠隔システムの導入も有効である。